

東京歯科大学 口腔がんセンターを受診された方へご協力をお願い

東京歯科大学 口腔がんセンターでは

「口腔がん関連遺伝子産物およびがん関連線維芽細胞の発現と予後の解析」

上記の臨床研究を行っております。

この研究は口腔がんセンターにおいて患者さんに高度な水準でのがん医療を提供するため、過去に当科において加療を行った口腔がん患者さんの術前、術後の標本を改めて見直すことにより、治療後の経過との関連を調査することを主な目的としています。そのため、治療を受けた患者さんの治療データを使用させていただきたいと考えております。

この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会にて審査され、病院長の許可を得て実施しております。

研究の概要

1. 研究の背景および目的

近年、口腔がん治療は新たな薬剤や治療法の登場により飛躍的に進歩しています。しかし、再発や転移をきたすと治療が難しくなる場合があり、さらなる治療法の開発が望まれています。口腔がんセンターは日々多くの口腔がん患者さんの治療にあたっており、豊富なデータを有しています。蓄積されたデータを詳しく解析することで、治療成績の向上に役立つ新たな知見の発見をめざしています。

2. 予想される医学上の貢献および研究の意義

数多くの口腔がんの病理学的特徴を調査することにより、再発や転移を早期に予測できる因子の特定や、再発・転移のしにくい治療法の確立を目指します。

3. 研究の対象と方法

1) 対象者

2014年1月1日～2021年12月31日までに口腔がんセンターにおいて治療を行った患者さん。

2) 研究方法

2014年1月1日～2025年12月31日までのカルテデータ、病理組織標本から、患者さんの性別、年齢、腫瘍の発生部位、治療法、再発および転移の有無、生存率等の臨床指標を

調査します。また、これらのデータは将来、口腔がんの病態解明のための他の研究に利用させていただく場合があります。その場合には、再度倫理審査委員会の承認を得たうえで行います。

3) 使用する情報

カルテから以下の情報を使用させていただきますが、患者さんの個人を識別できる情報は削除し、匿名化して、個人情報漏洩しないように致します。

(使用する情報)

- ・年齢、性別、既往歴、がんの発生部位、治療法、再発・転移の有無等の患者情報全般
- ・検査データ：血液検査、病理組織検査、画像データ（CT, MRI 等）

4. 個人情報の取扱い

電子データはパスワードで制御されたコンピューターに保存し、その他の情報も施錠可能な場所に保存します。また、研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間保存させていただいた後に適切に廃棄いたします。

5. 費用

この研究により、新たな検査や費用が生じることはありません。また、情報を使用させていただいた患者さんへの謝金等もありません。

6. 結果の公表

研究の結果については、学会や専門誌等に発表されることがありますが、個人が特定できるような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

7. 研究計画書の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができます。

ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は、お手数ですが、研究期間終了までにお申し出ください。その場合には患者さんのデータは本研究には使用いたしません。ご了承いただけない場合でも、診療等の病院サービスにおいて患者さんへ不利益が生じることはありません。その他、ご質問等ありましたら、遠慮なくお問い合わせください。

<問い合わせ先>

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

電話： 047-322-0151

口腔がんセンター 関川翔一